

35周年企画 部会活動

目録サポートチーム

春日井泉江

I. 2006年～2007年

近畿病院図書館協議会蔵雑誌目録 Web 版 (通称: Kinki Webcat) は、CD-ROM 版で発行された「会員所蔵雑誌目録 2004」のデータを基にし、2006年8月より Web 版として稼動している。冊子体および CD-ROM 版の目録作成を担当していた目録編集部から、Web 版の稼動時の業務を担当した Web 版ワーキンググループを経て、2006年10月に目録サポートチームが発足し、活動している。

Web 版の稼動当初は、CD-ROM 版の発行以降に変化した書誌情報および各機関の所蔵情報を修正することが、主な業務となった。Web 版では、各機関で直接自館データを更新できて便利な反面、更新頻度に差が出てしまい、データベースの質を保つのが難しい。利用方法がわからない会員は個別にサポートし、初期状態のまま放置している会員には直接働きかけるなど、全会員が Web 版を利用した相互貸借に移行できるように努めた。

II. 2008年～2011年

Kinki Webcat の利用が増えるのに伴い、システム上の不備や利用者からの要望が出てきた。しかし、サイト構築費用は3年間での分割払いを予定しており、予算面から大きな改修には制限があった。そこで、改修点をリストアップして検討した中から、どうしても必要な改修のみ早期に実施し、残りは2009年以降に実施する予

定とした。

新規書誌を追加する一方で、CD-ROM 版から移行した約3,500の書誌を手作業で一つ一つ確認し、書誌データの更新に取り組んだ。利用ログを見ると、データ修正のために伸びていたアクセス数が、2009年頃から落ち着いてきたのがわかる。Kinki Webcat の改修作業も徐々に進め、2010年までにはほぼ完了した。

今後は、改修後の内容に合わせて、Kinki Webcat のマニュアルや利用案内の見直しを行っていく。2010年より、実際に Kinki Webcat を利用している会員に、モニター部員として目録サポートチーム会議に参加してもらい、本当に使いやすいものとなるよう検討を続けている。

III. おわりに

目録サポートチームメンバーは、NACSIS-CAT/ILL や東海目録 Web 版の参加者を加えたり、関西地区に偏らないように配慮して、協議会の内外との連携を心がけている。これからも会員の身近で頼れる存在となり、協議会活動を支えていきたいと思う。

今回、協議会の35周年企画にあたり、目録サポートチームの活動についてまとめた。Kinki Webcat の詳細については、下記を参考にされたい。

・ Kinki Webcat

<http://webcat.sunmedia.jp/khlacat/>

・ 所蔵雑誌目録 Web 版ページ (近畿病院図書館協議会ホームページ内)

<http://www.hosplib.info/web/index.html>